

日本で会える動物 【哺乳類2・爬虫類・両生類・魚類】



ニホンカモシカ 地 大 茶

分類：偶蹄目ウシ科
 英名：Japanese Serow
 学名：Capreolus crispus
 分布：日本（本州、四国、九州）
 体長：105～112cm
 体高：68～75cm
 体重：30～50kg
 生態：日本の固有種。標高1500m前後の森林にすみ、木の葉や草を食べる。それぞれがなわばりをもって、単独で行動する。眼下腺や蹄線から臭いのある分泌液を木の枝などにつけてなわばりを主張する。同じ場所に糞をする「タメフン」の習性がある。オス・メス共に角があり、一生生え変わらない。



ヤクシマヤギ 小

（家畜種）

分類：偶蹄目ウシ科
 英名：Yakushima Goat
 学名：Capra hircus
 分布：屋久島
 体重：オス 25～30kg メス 20～25kg
 生態：西暦 700～800 年ごろ日本に渡来して来たと考えられている東南アジア島系の小型のヤギ。屋久島のヤギだが、現在屋久島では数が減っている。



ニホンイノシシ 松 飯

分類：偶蹄目イノシシ科
 英名：Japanese Wild Boar
 学名：Sus scrofa leucomystax
 分布：日本（本州、四国、九州、淡路島、小豆島）
 体長：100～170cm 尾長：20～30cm
 体重：80～180kg
 生態：低山や人里近くの林ややぶに生息。雑食性でクヌギやヤマノイモなどの根やシイ類の堅果（ドングリ）、小動物（昆虫類やミミズ等）を食べる。雪深い地域には生息しないとされてきたが、近年分布を広げているよう。

ニホンジカ

分類：偶蹄目シカ科 英名：Sika Deer
 解説：名前に「ニホン」とついているが、日本の固有種ではなく、中国、ベトナムなど東アジアに広く分布している。ホンシュウジカ、ヤクシカなど16亜種があり、北に生息するものほど、体が大きい。オスには角があるが、毎年春に落ち、新しい角が生えてくる。



ホンシュウジカ 地 茶

学名：Cervus nippon centralis
 分布：本州
 体長：120～130cm
 尾長：約 10～20cm
 体重：50～80kg
 生態：森や草原に住み、草木や葉っぱを食べる。夏毛は茶色に白い斑点、冬毛は茶色の硬く長い毛に覆われ白斑は見えなくなる。オスは成熟すると角が4本に枝別れる。



ヤクシカ 松 城 小

学名：Cervus nippon yakushimae
 分布：屋久島
 体長：90cm 尾長：10cm
 体重：オス 24～37kg メス 19～25kg
 生態：ニホンジカの最小亜種。角の枝別れも3本以下。屋久島に3000頭いると推測される。常緑広葉樹林に生息するヤクシカは、主に落ち葉や落ちた果実や種子を食べる。



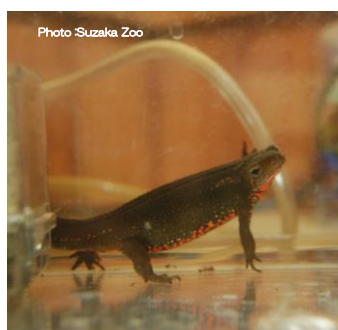
ニホンイシガメ 松 茶 城

分類：カメ目イシガメ科 小 飯
 英名：Japanese Pond Turtle
 学名：Mauremys japonica
 分布：日本の本州・四国・九州、周辺の属島
 甲長：最大約 20cm
 体重：約 700g
 生態：日本固有のカメ。河川、湖沼、低湿地に生息し雑食性。近年生息地の減少、多量との競合、乱獲等により生息数が減少している。



クサガメ 松 茶 城 小 飯

分類：カメ目イシガメ科
 英名：Reeve's Pond Turtle
 学名：Chinemys reevesii
 分布：北海道を除く日本本土・朝鮮半島・中国
 甲長：最大約 25cm
 体重：約 1200g
 生態：流れのゆるやかな河川や低地の湖沼に生息。雑食性。四肢の付け根近くの臭腺から独特の匂いを出すことから臭亀という。甲羅に縦に3本線「キール」が入っている。



ニホンイモリ 茶 須

分類：有尾目イモリ科
 英名：Japanese Fire Belly Newt
 学名：Cynops pyrrhogaster
 分布：日本（本州・四国・九州）
 全長：オス 8～10cm メス 10～13cm
 体重：3～12g
 生態：日本の固有種。お腹には、赤地に黒の斑点模様がある。水質の良い流れの少ない水田や池、小川に生息している。生息数が減少している。



アカイシサンショウウオ 茶

分類：有尾目サンショウウオ科
 英名：Akaishi Salamander
 学名：Hynobius katoi
 全長：10cm 前後
 生態：2004年に新種とされた長野県と静岡県でしか発見されていない種。黒っぽい地に白い斑点がある個体とない個体がいる。



ハクバサンショウウオ 茶

分類：有尾目サンショウウオ科
 英名：Hakuba Salamander
 学名：Hynobius hidamontanus
 全長：10cm 前後
 生態：1975年白馬村で発見され1987年新種として記載された。いまでは新潟、富山、岐阜でも確認されている。白馬村の天然記念物。



シナイモツゴ 茶

分類：コイ目コイ科
 英名：Shinai-motsugo
 学名：Pseudorasbora pumila pumila
 分布：関東・新潟県以北の日本に生息（長野市は、最西端）
 体長：5～8cm 体重：1～6g 程度
 生態：やや側扁した紡錘形で、側線は不完全である。全体にモツゴに似ているが、モツゴ程は大きくならない。モツゴと容易に交雑するため、数を減らしている。絶滅危惧ⅠA類。



クロサンショウウオ 茶

分類：有尾目サンショウウオ科
 英名：Japanese Black Salamander
 学名：Hynobius nigrescens
 全長：15cm 前後
 生態：北関東より北に生息。池の表面に乳白色の卵囊と呼ばれる卵塊を産むのが特徴。長野市の皆神山の産卵池は天然記念物に指定されている。